

プロポーザル方式による特定結果書

1 業務名 令和5年度黒部川自然再生計画検討業務
2 所属事務所 黒部河川事務所
3 方式(〇〇型プロポーザル方式) 簡易公募型プロポーザル方式
4 技術提案書の提出要請日 令和5年9月20日
または選定通知日
5 公示日 令和5年8月29日
6 特定通知日 令和5年10月18日

技術提案書提出者	特定の有無	特定されなかった理由
【A社】日本工営(株)	×	貴社については、評価の着目点のうち「実施方針について」および、「評価テーマについて」の「的確性」「実現性」において他社が優位であると判断したため、非特定としたものである。
【B社】(株)建設技術研究所	×	貴社については、評価の着目点のうち「実施方針について」の「業務理解度」「その他」および、「評価テーマについて」の「的確性」「実現性」において他社が優位であると判断したため、非特定としたものである。
【C社】いであ(株)	×	貴社については、評価の着目点のうち「実施方針について」の「業務理解度」「その他」および、「評価テーマについて」の「的確性」において他社が優位であると判断したため、非特定としたものである。
【D社】(株)東京建設コンサルタント	○	
【E社】(株)建設環境研究所	×	貴社については、評価の着目点のうち「実施方針について」および、「評価テーマについて」の「的確性」において他社が優位であると判断したため、非特定としたものである。

- (備考) 1 「特定されなかった理由」の欄には、非特定通知書と同様の内容を記載する。
2 「特定の有無」の欄には、特定された場合には「○」と記載し、選定されなかった場合には「×」と記載すること。
3 標準プロポーザルの場合は、「5 公示日」は技術提案書の提出要請日を記載する